

50葡萄沢山の頂上に立つ。

[タイム] 不動滝(8:50)→不動沢終了・葡萄沢山(12:50)

右岸  
十三沢(下降)

1983年5月22日

L

子

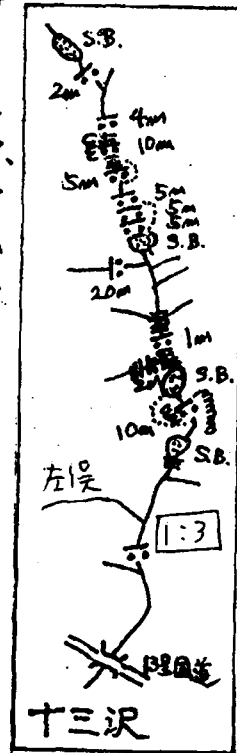
十三沢の下降は、事前に山菜とりの人達から得ていた情報と異なって、滝の連続するなかなかきつい下りであった。

葡萄沢山を13時に出発。10分程で沢に降り立つ。ワラジを履き直して沢を下り始めたたん、4mの滝が出てきて、これは右岸をクライミングダウン。そしてすぐに10mの滝。これはとても降りられない。ザイルを取り出して、立木を支点に左岸懸垂下降する。右岸には、ビニール袋いっぱいなどたちまちのうちに採れそうなほど、ゼンマイが群生しているのだが、こちらには懸垂の支点がほどよい位置に求められないとあっては、指をくわえて見逃すほかはない。そのはらいせというわけでもないが、ザイルにぶら下がったままで、ウドを集めながら下った。

このあとも5mクラスの滝が連続する。いずれもクライミングダウンするにはちょっときびしい滝ばかりである。ただ幸いなことに、ホールドとなる木の枝があったり、沢からほとんど離れずに捲くことができたりする。また、所々にスノーブリッジが残っていて、その下をくぐりぬけたりもする。

15:30沢がカーブした所にある10m滝の右岸を捲いて下ると、あとは平凡となった。15:55下降を終え、13号国道にあがる。

(1)



[タイム] 葡萄沢山・下降開始(12:50)→下降終了(15:40)